

『BRAIN and NERVE』投稿ならびに執筆規定

(2009.1.1)

論文の募集と採否

1. オリジナリティに富んだ原著、日常臨床に有用な症例報告、時宜に合った総説などを歓迎します。なお、本文は原則として日本語に限りです。
2. 表現は明確・簡潔にし、平易な用語を用いてください。また、論文の重要性が専門領域以外の研究者にも理解できるよう配慮してください。
3. 国内外を問わず、他誌に既掲載、掲載予定または投稿中でないもの、自らあるいは第三者のホームページに収載または収載予定でないものに限りです。
4. 投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。審査の結果、編集方針に従って原稿の加筆、修正、削除をお願いすることがあります。
5. 患者情報の記載のある論文では、プライバシー保護に十分配慮したうえで執筆ください。また、臨床的研究ならびに動物実験は倫理性に配慮されていることを要します。
6. 企業と関連する論文は、研究費など利益相反条項を明示したものを別紙で編集室あてにご送付ください。

執筆要項

7. 論文の長さは下記のとおりとします。
[原著] 本文（文献含む）8,000字以内、写真・図・表8点以内。
[症例報告] 本文（文献含む）6,000字以内、写真・図・表6点以内。
[総説] 本文（文献含む）10,000字以内、写真・図・表10点以内。
[神経画像アトラス] 本文（文献含む）1,200字以内。画像を1～2枚。
写真・図・表が規定より超過した場合は、1点につき400字を本文より減じて調整してください。
8. 本文、文献のほかには英文抄録を原著、総説は400語程度、症例報告は250語程度で添付し、5個以内のkey wordsを英語で指定してください。
9. タイトルページにはタイトル、著者名、所属、連絡先を和文・英文とも記載してください。また、本文・文献の総字数を記載してください。原稿には必ずページ番号を入れてください。
10. 原稿は原則として、タイトルページ、本文、文献、図表説明、表、図、写真の順に配置してください。なお、図表の説明はすべて英文表記としてください。
11. 原稿は横書きで、1行の行数はA4判用紙で24～35字とし、十分な行間（5mm以上）をとってください。
12. 専門用語は原則として「神経学用語集 改訂第3版」にのっとり表記してください。
13. 専門用語以外は常用漢字、現代仮名遣いとし、外国語（地名・人名・薬品名など）は、日本語化しているものを除き、原語のままアルファベットで表記してください。また、文中の外国語単語（病名、一般薬名など）の頭文字は固有名詞、独語名詞、文頭の場合を除き小文字にしてください。
14. 年号は西暦で統一してください。
15. 本文中の略語は、原則として初出でフルスペルと略語を併記し、以後、略語を使用してください。図・表においても略語には説明を添えてください。
16. 数字は算用数字、度量衡単位はCGS単位でm, cm, m², mL, dL, gなどを使用してください。
17. 写真はL判(12.7cm×8.9cm)以上の大きさと鮮明なものにしてください。原寸大の掲載が必要な場合はその旨を明記し、大

きさは21cm×14cmを限度とします。電顕写真にはバーを入れてください。文字や矢印は写真に直接記入せず、写真のコピーなどに記載したものを添えてください。

18. 写真は鮮明で質の高いものをご送付ください。カラー印刷はご希望により実費にて申し受けます。
19. 採用原稿は原則として返却しません。返却を要するものはそのむね編集室までお知らせください。
20. 原稿・写真・図・表は必ず各2通お送りください。
21. 所定枚数を超過した論文は原則として採用いたしません。ただし、編集委員会で超過を認めた場合に限り掲載することがあります。

文 献

22. 文献は本文中に引用されたもののみを挙げてください。
23. 文献は引用順に番号を付して並べ、文末に掲出してください。本文中の引用箇所には肩番号を付して照合してください。
24. 文献は5名まで挙げ、それ以上の場合は、和文では「他」、欧文では「et al」としてください。
25. 文献の書き方は下記のように統一してください。
[雑誌] 著者名：題名、誌名 巻数：開始頁-終了頁、発行年
[書籍] 著者名：書名、発行所名、発行地、発行年、頁
著者名：題名、書名(編者)、発行所名、発行地、発行年、頁-頁

なお、欧文雑誌名の略称はIndex Medicusに従い、和文雑誌は公式の略称を用いてください。

審査往来と採用決定後

26. 採用にいたらなかった論文は、いったん返却します。再投稿される場合は、査読者のコメントに対応した改訂箇所を明示する返書と、その変更箇所を下線などで明示した改訂原稿を元原稿とともに送付してください。
27. 著者校正は原則として1回とします。

掲載誌と別刷

28. 著者には掲載誌1部と別刷30部を贈呈します。贈呈分以上の別刷をご入用の場合は50部単位で実費にて申し受けます。

著作権について

29. 本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権などは医学書院に譲渡されたものとします。著作者ご自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用する場合には事前に弊社あてご一報ください。投稿にあたっては著作財産権譲渡承諾書（巻末色紙）に共著者全員の名前を記し、必要項目に印をつけたうえで、原稿に添付してください。

引用・転載の許諾について

30. 他著作物からの引用・転載については、著作権保護のため、原出版社および原著者の許諾が必要です。あらかじめ許諾を得てください。弊社ホームページの参考フォーマットをご参照ください。
<http://www.igaku-shoin.co.jp/misc/kyodaku/kyodaku.html>

原稿送付先

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

医学書院「BRAIN and NERVE」編集室

本誌文献略称：Brain Nerve

参考：文献記載法

文献記載例：

[雑誌]

- 1) 花岡一雄, 有田英子, 長瀬真幸, 井手康雄, 田上 恵, 他: 痛み治療の選択基準—ドラッグチャレンジテストによる基準. Brain Nerve 60: 519-525, 2008
- 2) Brighina L, Frigerio R, Schneider NK, Lesnick TG, de Andrade M, et al: Alpha-synuclein, pesticides, and Parkinson disease: a case-control study. Neurology 70: 1461-1469, 2008
- 3) Sperandio S, de Belle I, Bredesen DE: An alternative, nonapoptotic form of programmed cell death. Proc Natl Acad Sci U S A 97: 14376-14381, 2000

[書籍]

- 4) 平野朝雄: カラーアトラス神経病理. 医学書院, 東京, 2006, pp139
- 5) 船越 洋: HGF と神経系—新しい神経栄養因子としての HGF. 中村敏一, 荻原俊男監修, HGF の分子医学. メディカルレビュー社, 大阪, 1998, pp61-67
- 6) Young WB, Silberstein SD: Migraine and Other Headaches. American Academy of Neurology, New York, 2004, pp123-128
- 7) Sykes N: Palliative care at the end of life. In Amyotrophic Lateral Sclerosis. Mitsumoto H, Przedborski S, Gordon P (Eds). Taylor & Francis Group, New York, 2005, pp783-798

主な和文雑誌略称 [名称 (略称)]

* 誌名と略称が同じものは誌名のみ記載しています。

- [A-Z] Clinical Neuroscience (Clin Neurosci)/The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (Jpn J Rehabil Med)
- [あ行] 医学と生物学/医学のあゆみ/医療/音声言語医学
- [か行] 科学/解剖学雑誌 (解剖誌)/核医学/眼科/肝臓/基礎と臨床 (基礎と臨)/胸部外科/外科/血液・腫瘍科 (血腫瘍)/現代医療/呼吸と循環 (呼と循)
- [さ行] 最新医療/細胞/産科と婦人科 (産と婦)/耳鼻咽喉科・頭

頸部外科 (耳喉頭頸)/耳鼻咽喉科展望会 (耳展)/耳鼻と臨床 (耳鼻)/自律神経/失語症研究/小児科/小児科紀要 (小児記)/小児科診療 (小児診療)/小児科臨床 (小児臨)/神経化学/神経外傷/神経研究の進歩 (神経進歩)/神経内科学 (神経内科)/診断と治療 (診と療)/新薬と臨牀 (新薬と臨)/生化学/生体の科学/成人病と生活習慣病/精神医学/精神科治療学/精神神経学雑誌 (精神経誌)/整形・災害外科 (整・災外)/整形外科/脊椎脊髄ジャーナル (脊椎脊髄)/総合リハビリテーション (総合リハ)

【た行】 治療

【な行】

内科/日本医事新報 (日医事新報)/日本外科学会誌 (日外会誌)/日本小児科学会誌 (日児誌)/日本小児外科学会誌 (日小外会誌)/日本衛生学雑誌 (日衛誌)/日本眼科学會雑誌 (日眼会誌)/日本眼科紀要 (眼紀)/日本胸部臨牀 (日胸臨)/日本災害医学会会誌 (日災医会誌)/日本産科婦人科学会誌 (日産婦誌)/日本耳鼻咽喉科学会会報 (日耳鼻会報)/日本周産期・新生児医学会雑誌 (新生児誌)/日本小児科学会雑誌 (日児誌)/日本消化器学会誌 (日消誌)/日本生理学雑誌 (日生理誌)/日本整形外科学会誌 (日整会誌)/日本内科学会雑誌 (日内会誌)/日本内分泌学会雑誌 (日内分泌会誌)/日本皮膚科学会雑誌 (日皮会誌)/日本病理学会会誌 (日病理会誌)/日本平滑筋学会雑誌 (日平滑筋誌)/日本放射線技術学会誌 (日放技学誌)/日本臨牀 (日本臨牀)/日本臨床外科学会雑誌 (日臨外会誌)/日本臨床生理学会雑誌 (臨床生理)/日本臨床麻酔学会誌 (日臨麻会誌)/日本薬理学会雑誌 (日薬理誌)/日本老年医学会雑誌 (日老医誌)/脳神経外科 (No Shinkei Geka)/脳神経外科ジャーナル (脳外誌)/脳神経外科速報 (脳外速報)/脳卒中の外科/脳と神経 (No To Shinkei)/脳と発達

【は行】

皮膚科の臨牀 (皮臨)

【ま行】

麻酔/脈管学

【ら行】

臨床科学 (臨科学)/臨床眼科 (臨眼)/臨床血液 (臨血)/臨床外科 (臨外)/臨床産婦人科 (臨婦産)/臨牀小児医学 (臨小児医)/臨床神経学 (臨床神経)/臨床整形外科 (臨整外)/臨床脳波/臨床皮膚科 (臨皮)/臨床評価/臨床病理/臨床放射線 (臨放)/臨床免疫/臨床薬理